

番号	58	大井手井堰竣工記念碑 佐賀県知事 井本 勇		
所在地		伊万里市二里町中里甲 3 3 5 3		
災害別		昭和 2 3 年（ 1 9 4 8 ） 水害		
目的別	記念碑	建立年	平成 5 年 5 月	
特記事項				



大井手井堰は、伊万里市を流れる有田川に設けられた井堰の一つで、もともとは成富兵庫茂安の設計によるものと伝えられてきたが、昭和23年9月11日の大水害で跡形もなく流失した。その後、昭和24年に区民の努力によりコンクリート固定堰に復旧され、さらに昭和42年7月の水害後、有田川中小河川改修事業に伴い、平成4年に現在の鋼製油圧式自動倒伏堰に改築された。この記念碑はその竣工を記念し建立されたものである。なお、その横には井堰を見守るように井手神社と水神社の祠が祀られている。

「碑文 大井手井堰は成富兵庫茂安公の設計により構築され、参百有余年を経過し、今日まで住民の生活用水や農業用水として利用されてきました。被災以前までは松の巨木があって、水辺には常に人々の生活に潤いと安らぎを与えるなど恩恵を施し、地域の発展に寄与してまいりました。

その反面、ひとたび豪雨になると河川が増水氾濫し荒れ狂う川と化し、大災害がおこり、尊い人命を奪い家屋田畑に甚大なる損害を与えました。

特に、昭和二十三年九月の大水害では堰が跡形もなく流出しましたが、区民の努力によってコンクリート固定堰に復旧され、今日にいたっております。

度重なる災害を未然に防止し、地域住民の安全確保の対策として、有田川改修工事が急務となり、大井手井堰も改修に迫られることになりました。

その為に、中小河川改修事業が着手され、従来のコンクリート固定堰を、鋼製油圧式自

動倒伏堰に改築されましたので、大井手井堰の改修建設に当たり、先駆者の偉業を偲び、御尽力を賜りました関係機関及び関係各位に、深く感謝の誠を捧げるとともに、今後益々の地域農業の発展を祈念して、記念碑を建立し後世に伝えるものであります。

平成五年五月吉日 伊万里市長 竹内通教」



井手神社（左）と水神社（右）



国土地理院電子国土 Web